



# きんこく

第105号

発行：平成18年6月1日



## 大空高く舞いあがれ

(町内保育園児によるこいのぼり掲揚式)

### 主な内容

平成18年第3回定例会 .....	2～3 P
予算審査特別委員会Q&A・基本構想審査特別委員会Q&A .....	4～5 P
一般質問 .....	3～11 P
仲間 清 前田 修 伊芸 武吉 小波津 隆 仲間 政治 東 寛治	
議員表彰・監査委員、人権擁護委員について・議事録検索システム .....	12 P

# 第3回 定例会

## “平成18年度予算・第4次金武町総合計画基本構想を可決”

- 一般会計 **61億7,522万2千円** (対前年度比0.5%増)
- 国保・老健・有線特別会計 **26億1,471万6千円** (対前年比1.57%増)
- 水道事業会計・屋嘉地区簡易水道事業会計 **4億2,742万9千円** (伸び率 △0.83%)

平成18年第3回定例会が3月2日(木)から23日(木)までの日程で開催された。

定例会では議案の提案に先立ち、町長により平成18年度の施政方針で、町政運営の基本方針並びに主要施策の概要が述べられた。

上程された議案は、平成18年度一般会計・特別会計予算、第4次金武町総合計画基本構想について、金武町公の施設の指定管理者の指定など36件を審議し、全ての議案を原案のとおり可決した。

また、平成18年度予算に係る審議は、議長を除く全議員で構成する予算審査特別委員会に、第4次金武町総合計画については、基本構想審査特別委員会に付託され、最終日の本会議にて原案どおり可決。一般質問は6人の議員が登壇した。

### 第4次金武町総合計画基本構想

総合計画とは…町の将来像を描き出し、地域づくりの基本理念と目標を定めるとともに、これを実現化するために必要な施策の大綱を明らかにするもので、おおむね10年間を目標期限とする。

### 将来像 心豊かな明るい健康文化のまち

#### 施策の基本目標と部門別構想

#### 心のふれあう健康福祉のまちづくり

##### —保健・福祉の充実—

- (1) 健康づくりの充実
- (2) 児童福祉の充実
- (3) 母子・父子福祉の充実
- (4) 障害者福祉の充実
- (5) 高齢者福祉の充実
- (6) 国民健康保険

#### 水と緑の豊かな環境のまちづくり

##### —生活環境・基盤の整備—

- (1) 市街地、集落・住宅地の整備
- (2) 道路整備
- (3) 上水道の整備
- (4) 下水道の整備
- (5) 海岸・河川・公園緑地の整備
- (6) 情報通信の整備

#### 豊かな活力ある産業のまちづくり

##### —産業の振興—

- (1) 農林・畜産業の振興
- (2) 水産業の振興
- (3) 商工業の振興
- (4) 観光業の振興
- (5) 雇用対策の推進

#### 健やかで薫り高い教育文化のまちづくり

##### —教育・文化の振興—

- (1) 学校教育の振興
- (2) 生涯学習の振興
- (3) スポーツ・レクリエーションの振興
- (4) 青少年健全育成の推進
- (5) 育英事業の推進
- (6) 地域文化の振興
- (7) 国際交流の推進

#### たのしく暮らせる安心のまちづくり

##### —環境衛生・防災対策の推進—

- (1) 廃棄物処理対策
- (2) 野犬・ハブ対策
- (3) 消防・救急・防災対策
- (4) 交通安全・防犯対策

#### まちづくりを推進するために

##### —行財政・広域行政の推進—

- (1) 町民参加によるまちづくり
- (2) 行財政の確立
- (3) 広域行政の推進

## 一般会計 歳入・歳出の内訳

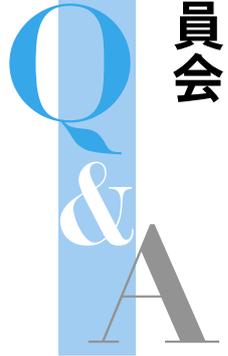
目的別	歳 出			歳 入			
	科 目	金 額	構成比	事 項	金 額	構成比	対前年比
		千円	%		千円	%	%
	1 款 議会費	123,449	2.00	1 款 町税	899,840	14.57	3.54
	2 款 総務費	2,003,852	32.45	2 款 地方譲与税	88,167	1.43	△ 1.51
	3 款 民生費	1,211,724	19.62	3 款 利子割交付金	2,215	0.04	44.68
	4 款 衛生費	458,026	7.42	4 款 配当割交付金	1,713	0.03	278.98
	5 款 労働費	17,006	0.28	5 款 株式等譲渡所得割交付金	621	0.01	739.19
	6 款 農林水産業費	644,067	10.43	7 款 地方消費税交付金	76,629	1.24	6.19
	7 款 商工費	32,913	0.53	8 款 自動車取得税交付金	17,253	0.28	14.65
	8 款 土木費	271,596	4.40	9 款 国有提供施設等所在市町村助成交付金	174,898	2.83	4.00
	9 款 消防費	194,914	3.16	10 款 施設等所在市町村調整交付金	277,969	4.50	0.00
	10 款 教育費	767,510	12.43	11 款 地方特例交付金	8,441	0.14	△ 50.54
	11 款 災害復旧費	10	0.00	12 款 地方交付税	1,503,263	24.34	△ 4.08
	12 款 公債費	433,700	7.02	13 款 交通安全対策特別交付金	2,232	0.04	14.46
	13 款 諸支出金	6,455	0.10	14 款 分担金及び負担金	52,657	0.85	7.49
	14 款 予備費	10,000	0.16	15 款 使用料及び手数料	80,387	1.30	0.85
	合 計	6,175,222	100.00	16 款 国庫支出金	450,973	7.30	△ 0.69
性 質 別	人件費	1,430,454	23.16	17 款 県支出金	368,457	5.97	70.93
	物件費	1,310,233	21.22	18 款 財産収入	1,770,264	28.67	0.79
	扶助費	337,997	5.47	19 款 寄附金	1	0.00	0.00
	補助費等	1,605,071	25.99	20 款 繰入金	111,464	1.81	53.78
	公債費	433,700	7.02	21 款 繰越金	1	0.00	0.00
	投資的経費	763,020	12.36	22 款 諸収入	100,892	1.63	△ 56.78
	その他の経費	284,747	4.61	23 款 町債	186,885	3.03	△ 7.30
	予備費	10,000	0.16	歳入合計	6,175,222	100.00	0.53
合 計	6,175,222	100.00					

## 特別会計及び企業会計予算

会計	年度	平成 18 年度	平成 17 年度	比 較	伸 び 率
国民健康保険事業特別会計		1,573,250 千円	1,462,743 千円	110,507 千円	7.55 %
有線放送電話事業特別会計		26,156	27,765	△ 1,609	△ 5.80
老人保健特別会計		1,015,310	1,083,897	△ 68,587	△ 6.33
計		2,614,716	2,574,405	40,311	1.57
水道事業会計 (支出)		392,989	397,927	△ 4,938	△ 1.24
屋嘉地区簡易水道事業会計 (支出)		34,440	33,098	1,342	4.05
計		427,429	431,025	△ 3,596	△ 0.83

# 予算審査特別委員会

## 主な質疑



### 総務財政に関する質疑

#### ■町税等徴収状況について

**Q** 滞納繰越分の徴収率が二十三％しか計上されていないが、低すぎないか。

**A** 毎年度滞納繰越が増加しており、滞納繰越へまわさないためにも現年度分の徴収を強化している。また、現年度分の徴収率が低下すると、地方交付税にも影響が出てくるので強化したい。  
**Q** 今後の徴収率は向上するか、低下するかの見通しはどうか。

**A** 税制改正で住民税の控除関係が廃止されることなどから、課税額としては上がるが、徴収率は下がる見通しである。

#### ■地域防災計画について

#### ■第三次総合計画の中で、災害時の防災について

**Q** 町民のアンケートでは不満であるとの結果が出ているが、それを受けて、防災計画の見直しは。

**A** 評価については十六年十一月時点のことだと思ふ。その後、防災会議や県との調整を経て、異議ないという事で、防災計画の見直しをおこなった。

**Q** 以前、スピーカーを設置する計画があったが。

**A** 防災無線のことだと思ふが、技術備人料を計上しているの、調査・検討する。

### 産業建設に関する質疑

#### ■特産品振興会への補助金について

**Q** 五年間の期限付きの補助であったと思うが、五百万円が計上されているが。

**A** 当初、十七年度までの五年間の補助期限であったが、指定管理者へ管理を移行するまでの二年間、補助期限を延長する。

**Q** 補助を受けての開発商品の普及活動等は。

**A** 町民にPRできるような体制を確立していきたい。

#### ■松くい虫対策について

**Q** 委託料が計上されているが、公共の松の保護をするのに五百万円も要するか。

**A** 県からの補助であるが、歳出で一千万円を計上している。公共松の二百九十本の対策と一般住宅の枯れた松の伐倒する計画である。

**Q** 県補助の委託料を断ることは考えないか。

**A** 県から防虫帯として金武・恩納あたりで食い止めたいとのことがあり、県の

趣旨を踏まえ、断ることは考えていない。

### 教育民生に関する質疑

#### ■子育て支援金について

**Q** 人数はどの程度見込んでいるか。また、根拠は。

**A** 本町の年間出生数は、百二十人前後であるため、百三十人分を計上している。

**Q** 支給条件として、町税等の滞納がない世帯とされているが、本来の支援目的から外れているのではないか。

**A** 福祉を進めていく上では、納税等の義務に関する住民の意識向上も目指さなくてはならない。厳しいかもしれないが、そういうことも念頭に入れて子育てをしていただきたいと考えている。義務を果たした方々には行政側が支援をしていきますとの姿勢を見せていきたい。

**Q** 条例見直しの余地は。  
**A** 状況をみて対応する。  
**Q** 四月一日以前の出生者取扱いについては。  
**A** 支援金の支給については、四月一日以降の出生児に限る。

#### ■放課後児童健全育成事業について

**Q** 事業拡大の予定は。

**A** 一力所の予定であるが、地域の需要と各区の協力があれば年度途中でも対応したい。

#### ■新すこやか保育事業について

**Q** 事業目的は。

**A** 町内五力所の認可外保育所を支援するのが目的である。ミルク代の1/2を県・市町村で支援するのが制度目的で、本町では、認可外保育所の園児の教材等をひとり当たり六千円程度支援することまで拡大する予定である。

# 基本構想審査特別委員会

## 主な質疑



**Q** 第四次金武町総合計画について、どの程度の実現性があるか。

**A** 基本構想の十年間という期間の中で、できるだけ一〇〇%に近い実現性を求めていきたい。

**Q** 総合計画を策定するにあたって延べ人数や時間はどれくらいかかっているか。  
**A** 平成十六年から役場の係長・補佐が策定委員会のメンバーで、総勢四十人ほどが策定に関わっている。また、分野別懇談会では、町内で活躍されている各団体の方々の意見や各區をまわって住民の方々の意見等も伺っている。全体を網羅したかたちで計画を策定している。

**Q** 第三次の「心豊かな明るく住みよい活力あるまちづくり」という表現から「心豊かな明るい健康文化のまちづくり」という将来像に変わっているが、ギンバル訓練場返還後の跡地利用実現を想定したものは何か。

**A** ウェルネスの里ということも含め、金武町全体がそういう方向を目指していきたいというところで、「健康」という言葉を使っている。

**Q** 今後、十年間で一万二、〇〇〇人程度までの人口増を見込んでいるようだが。  
**A** 本町では、平成二年度から微増ではあるが伸びてきている。今後、各施策の中で、雇用の発生をさせる

などの部分で政策的目標としての人口設定である。

**Q** これからのまちづくりは住民参加が不可欠だが、十年間の町のビジョンに関して、住民が取り組まなければならぬことはあるか。

**A** 環境問題では、ゴミの分別等についても住民の協力を得なければならぬが、基本構想に盛り込んではいない。

**Q** 軍用地については、「本町の地域振興を図る観点から、町民にとって必要な土地の変換を求め、その実現を図ることが二十一世紀最大の課題である」とあるが、具体的にどの部分の返還を求めているのか。  
**A** 返還については、主にギンバル訓練場である。

たり、第三次で検証したことは盛り込まれているか。

**A** 第三次を検証・評価し、新しい時代の波である少子高齢化に関連した子育て支援等、IT環境の整備などを今回盛り込んでいます。

**Q** ギンバル訓練場の跡地利用について、ヘリパットの移設をほかしているような感じがするが、本当に解凍できるのか。  
**A** 各区や議会等でも3点セットで説明したいと申し上げたが、ヘリ訓練についての詳細な情報が得られていないためその件は説明していない。跡地利用計画と土地活用については、町としてこういうことを計画しているということに対する理解を得るために、現在取り組んでいる。

**Q** 国道バイパスの事業に着手して、これまでの状況

説明はどの程度されているのか。

**A** 平成三年の事業スタートの段階では、事業概要説明会や用地買収説明会等をおこなってきたが、その後は地域を対象とした説明会はおこなっていない。今後、地域からの要望があれば開催を検討したい。

**Q** 市町村合併については社会的動向をみながら取り組むとあるが、具体的には

**A** 県内においては、市町村合併の取り組みがなされているが、北部地域ではまだ話が進んでいない。県のほうから合併に関する指針の提示があると思うので、内容をわきまえて考えていきたい。

# 一般質問

通告順に掲載 ※質問・答弁は要約



仲間 清 議員

## 産業廃棄物処理について

廃棄物処理対策に対する  
取り組みは

町 長  
適切な処理方法を検討し、農家の負担軽減を図る

仲間議員 農家は、作物の品質と所得の向上を目指しながら農業を営んでいるが、台風襲来等による被害は多

大なものである。ビニールハウス等を破損し、取り替える際の処理に苦慮している農家も少なくないが、町として農家の負担軽減や農業意欲を失わせないという観点から廃棄物処理対策に取り組むべきだと考えるが。

町長 農業用廃プラスチック適正処理対策協議会の設置を予定している。農協や生産組合、農業者団体等関係団体と連携し、適正な処理方法について検討し農家負担の軽減等に努めていきたい。

## ギンバル訓練場の跡地利用について

関係地主との同意は

町長

合意には至っていない

仲間議員 第四次金武町総合計画基本構想の重点プロジェクトとして、ギンバル訓練場の跡地利用が位置づけられているが、返還の目途が立っていない。条件付き返還であるが、解決策は。

町長 町として、ヘリパットの訓練内容、頻度、時間及び飛行ルート等の町内における訓練状況を米軍へ照会したが、十分な資料を得ることが出来なかった。しかし、訓練内容について情報を得るための話し合いを米軍・施設局・町の三者で持つことになっている。

仲間議員 関係地主との同意については。

町長 地権者の方にはギンバル訓練場の跡地利用計画、土地活用について説明会を行ったが、合意には至っていない。

仲間議員 補助事業の期限は。

町長 ギンバル訓練場跡地

利用計画における補助事業については、主に島田懇談会事業での展開を考慮しており、期限については平成十九年度となっている。

ないか。

町長 国の方も調整をしているが、合意に至っていないことなど、町の体制が確立されていないため、期限については十九年度までだという話はあった。しかし、ギンバル地域における事業計画が具体的に示せるようであれば、話し合いに応じてもいいということがあった。



上空から見たギンバル訓練場



前田 修 議員

強襲偵察部隊の夜間強襲揚陸訓練(フォーレスレコン)について

抗議する考えはないか

町長 訓練中止を訴える

前田議員 キャンプ・コートニーにおいて、夜間十時から翌朝四時にかけて、模擬銃を携帯した海兵隊が、ゴムボートで上陸訓練を実施しているとの新聞報道があった。時間帯によっては空砲を使用している訓練も実施されている様だが、情報は把握しているか。また、ブルー・ビーチやレッド・



ホバークラフトを使用した上陸訓練(ブルー・ビーチ)

ビーチでも同様の訓練が実施されているようだが、訓練の中止に向けて嚴重に抗議する考えはないか。

町長 具体的な訓練内容については承知していない。

町としてはこれまで、過重なる基地負担軽減を日米両政府に訴えてきた。この種の訓練が深夜の時間帯に行われているのであれば、地域住民に対して不安や恐怖を与えるものであり、日米

両政府に対して強く中止を求めている。

前田議員 戦車等が上陸訓練しているという事はないか。

国道の暗渠撤去について

伊地田原に設置されている暗渠を撤去する考えは

町長 確認できなかった

前田議員 国道三二九号線の嘉芸小学校の東側、伊地田原に暗渠が敷設されているが、どこが設置したものか不明である。責任の所在をあきらかにして、撤去もしくは他の場所へ移設できないものか。

企画課長 ブルー・ビーチでは昼間にホバークラフトを使用して、キャンプ・

コートニーから施設間移動をして上陸訓練をしているが、夜間の訓練は把握していない。

町長 町の道路台帳調査及び国道事務所等に照会をしたが確認できなかった。

前田議員 建設課長へ事前に調査依頼を行ったが、暗渠の所在は確認されていないか。

建設課長 企業局に問い合わせをしたが、設置したことはないとのことであった。国道事務所も同様の回答であった。町の道路台帳では嘉芸保育所の横とゴールデンサンビーチホテル付近には存在したが、質問箇所への暗渠は確認できなかった。



伊芸 武吉 議員

道路整備について

進捗状況は

伊芸議員 伊芸十二号線の改良舗装延長工事の事業計画・進捗状況は。

町長 伊芸十二号線については以前、国道への計画をし、用地買収交渉を進めてきたが、購入できない状況である。今後も継続して検討していく。

町長 区と協議していく

伊芸議員 伊芸シツチ原周辺護岸背後地の未完成道路整備計画の進捗状況は。

町長 計画区域内に個人所有地があり、用地購入を計画していたが、工事執行できる部分から先にして用地購入が解決次第、実施するというところで伊芸区と話し合ってきた。今後、伊芸区と協議して検討していく。



伊芸シツチ原の護岸

伊芸議員 美徳川河川周辺の道路整備計画については。

町長 伊芸農村公園工事設計調査事業において美徳川

改修計画案を提案し、採択申請を予定していたが、県

ギンバル訓練場跡地利用について

三点セットの進捗状況は

町長 返還に関する説明は行っていない

伊芸議員 町長が言う跡地利用の三点セットの具体的取り組みと進捗状況は。

町長 当初、跡地利用計画・土地活用・基地の返還の三事業を説明する予定であったが、基地の返還については米軍から十分な資料を得ることが出来なかったため説明を行っていない。跡地利用については先

の制度改正があり、今年度の金武町農村振興基本計画策定事業において新たな計画案を挿入し、事業採択に

向けて関係機関へ申請していく。

ことになっている。

端医療等を核とした施設整備、土地活用については等価交換方式の二事業を説明している。

伊芸議員 事業プランニングはできていると思うが、具体的に説明はできないか。

伊芸議員 ブルービーチへのヘリパッド移設問題の折衝状況、見通しはどうかっているか。

基地跡地推進課長 訓練場の跡地利用計画では公設民営・公設公営・民設民営を

町長 町としては、ヘリパッドの訓練内容・頻度・時間及び飛行ルート等、町内におけるヘリ訓練の状況を防衛施設局を通じて米軍に照会してきたが、十分な資料を得ることができなかった。しかし、訓練内容についての情報を得るための話し合いを米軍・那覇防衛施設局・町の三者で開く

計画している。公設民営については立地希望業者3社から希望がある。土地については等価交換を予定している。地権者との合意には至っていないが、合意に向けて説明をしていく考えである。等価交換費用は一般財源も投入されることと町の重要プロジェクトでもあることから、各区に対しては町の基本方針を説明している。



小波津 隆 議員

平成十八年度施政方針及び第四次総合計画基本構想について

基本構想の内容のうち、施政方針に盛り込まれているものは

町 長

子育て激励金の創設、乳幼児医療費助成の拡大など

小波津議員 第四次総合計画基本構想の内容のうち、平成十八年度施政方針に盛り込まれている事項はどのようなものがあるか。

町長 一つ目に、子育て激励金、虫歯予防奨励金の

創設、乳幼児医療費助成及び児童手当の支給対象拡大。二つ目に、生徒指導の充実強化を図るため二名の職員配置。三つ目に、屋嘉地区・小浜地区灌漑排水事業の推

進並びに金武・並里地区農業集落排水の推進、住居表示見直しについて。四つ目に、ゴミ分別収集の推進、地域防災計画概要版・防災マップの作成、災害時避難場所の標識設置。五つ目に、まちづくり条例の検討。

小波津議員 子育て奨励金について具体的には。

保健福祉課長 四月以降に生まれたお子さんに、十万円を支給することになってくるが、保護者の方がそれぞれの義務(納税等)を果たしているという条件をつけている。

小波津議員 『健康』とい

うキーワードに重みを持たせているように思うが、住民の健康づくり、健康維持にどのように取り組むか。

町長 住民のライフサイクルに応じた健康課題を明らかにし、感染症や疾病予防、早期発見に努めると同時に、住民が自分自身の健康課題を知り、自分の健康は自分で作れるような様々な施策を展開していく。

小波津議員 地域包括支援センターの移設はいつか。

保健福祉課長 四月一日である。

小波津議員 健康に向けて具体的にどういう取り組みがあるのか。

保健福祉課長 自分の健康は自分でつくり、守るという意欲がなければ、なか

難しいのではないかと。我々はこれ以上できないところまでやっている訳ではないが、提供しているサービスは門戸を拡げて待つているつもりである。

町長 住民の健康づくり事業への参加が少し弱いのではないかと。

小波津議員 農業振興策において有機栽培及び地産地消を推進し、食育と連動させる必要があると思うが、取り組みについては。

町長 有機栽培の推進については、耕畜連携による有機農法を推進しており、地産地消については保育所、学校給食において田芋・パイヤ・たまご等の地元農産物を活用している。今後は、地産地消推進計画に基づき、食の安全をアピールし、地域農産物の地産地消を一層推進していきたい。

小波津議員 町民が積極的にまちづくりに参加できるようなシステム作りに対する知恵等の受入を考えているか。

町長 まちづくりのルールとも言えるまちづくり条例を検討し、その中で、町民と行政の役割と責務、町民の参加の在り方と町民共同のルールなどを検討していくと考えている。検討の際には、情報共有や町民参加の仕組みづくりのため、町民参加型のグループワークやまちづくり懇談会、シンポジウム等において、町民自らが積極的にまちづくりビジョン等を考えていくようなシステムづくりを構築していく。



仲間 政治 議員

ギンバル訓練場の返還とヘリパッドの移設について

今後の日程と

町長の姿勢は

町長 条件付き返還の課題の解決に向けて鋭意努力する

町長 跡地利用の推進に向けては、ヘリパッド移設の条件付き返還という課題を解決しなければならぬ。島田懇談会事業の期限も十九年度となっており、そ

の課題については国・米軍等関係機関等と連絡調整を図り、解決に向けて鋭意努力していく。

町長は、日米両政府に何を求めて鋭意努力しているのか。

米軍再編の最終報告問題も含めて、大きく揺れ動いているこの中で、判断をしなければならぬと思う。

ギンバルについてぎりぎりの状況であるとの発言があるが、ぎりぎりの期限はいつか。

米軍再編の中間報告に盛り込まれていないものに関しては、SACOがそのまま生きてくるので、私の言うぎりぎりのラインは、最終報告の時期である三月末がタイムリミットである。

ブルービーチへのヘリパッド移設について

ブルービーチへのヘリパッド移設については、並里区では二度の反対決議がなされている。町議会でも過去に反対決議をした経緯がある。町長はいつ判断するのか。

先日、並里区長・区議会議長が訪れて、要請文の交渉があった。そのこと

共に歩みながら最終的に判断していきたい。

幼保総合施設と金武保育所の今後について

道路改修に伴う

金武保育所の今後の処遇は

町長 国のモデル事業の評価検討、保育ニーズを考慮し、進める

国は、総合施設実施の法案成立を目指しているが、本町において、道路改修に伴う金武保育所の今後の処遇に関心が集まる。諸般の情勢に鑑み、町長並びに教育長の所見は。

町民にある程度の情報を出して行きながら、地域の声に耳を傾け、地域と

国においては、就学前の教育・保育を一体として捉えた総合施設について、全国三十五箇所モデル事業を実施し、評価検討を進めている。本町においては、第四次総合計画に

法案の中身を十分検討しながら、町部局とも連携を図り、煮詰めていきたい。

その他質問事項

市町村合併について

国は、総合施設実施の法案成立を目指しているが、本町において、道路改修に伴う金武保育所の今後の処遇に関心が集まる。諸般の情勢に鑑み、町長並びに教育長の所見は。



東 寛治 議員

屋嘉地区農業集落排水事業について

十七年度末時点での事業進捗状況は

町長 基本設計と管路設計4キロの実施設計をおこなっている

東議員 屋嘉地区農業集落排水事業については、平成十七年度に採択されており、二十三年度から供用開始予定との説明がなされているが、十七年度末時点での事業進捗状況は。

町長 十七年度については、基本設計と管路設計13キロ

メートルのうち、4キロメートルの実施設計をおこなっている。

東議員 施設導入及び完成後の利用について、地域住民の合意は得られているかまた、合意確認はどのような方法で実施したのか。

町長 地域住民の合意率は82%となっている。合意確認については、区職員と行政委員が各家庭を訪問し、各世帯主の署名・押印により確認している。

東議員 平成十七年策定のローリング方式によると、十八年度において処理施設用地購入が計画されているが、用地の場所・面積・取得交渉の状況は。

町長 渡久比那川下流の小学校裏側、区有地付近を計画している。実施設計が完

了しないと面積が確定しないので、取得交渉は現在実施していない。

東議員 以前、屋嘉区民を対象に、施設を利用するかについてのアンケート調査があったと思うが、配布数と回収率は何パーセントか。

産業振興課長 平成十七年度の戸数584戸に対して、57%である。

東議員 施設を利用する場合には家庭の水回りの改修を伴うと思うが、その分住民には改修費の負担が出てくる。行政側が一部でも支援する考えは。

産業振興課長 伊芸区が供用開始をしているが、全額個人負担となっている。屋嘉区についても施設が完成すれば、大筋で個々の負担が確定してくるので、そのときに判断したい。

市町村合併に対する基本姿勢について

宜野座村との合併枠組みがあげられているが

町長 引き続き検討する

東議員 県が示した合併推進構想案によると、宜野座村との枠組みであるが、これに対する見解、認識は。

町長 町の財政見通しや町民・議会等の意向を尊重し、引き続き検討する。

東議員 金武・宜野座の枠組み案で町当局に対するアンケート調査的なものがあったか。

町長 アンケート調査もあつたが、県の担当者からのヒアリング調査も行って

いる。

東議員 健全な行政運営ができるのであれば、あえて合併をする必要はないと思うが、合併をしないならば、行政サービスのレベルを低下させず、今後の運営ができるのかという点が合併の判断要素になると思うが。

町長 町として現段階では、積極的な合併推進ではない。宜野座村の考えなど、具体的に聞いていないので、その辺を判断した上で対応し、結論を出したい。金武町が自立してやって行けるかなどの分析も必要だろうと考える。

その他質問事項  
・農業組合法人屋嘉畜産組合の経営について

**\* 議員表彰 \***

宜野座栄議員が25年以上の永きにわたり、議会議員として地方自治の振興発展に寄与されたことをたたえられ、沖縄県町村議会議長会から自治功勞の表彰がありました。



宜野座 栄 議員

**\* 監査委員・人権擁護委員 \***

4月26日に開催された第4回臨時会において、監査委員に伊芸正一氏を選任することに同意した。

また、人権擁護委員については、宮里輝光氏が適任であるとの意見を出した。



伊芸 正一 氏



宮里 輝光 氏

**ギンバル訓練場跡地利用調査特別委員会**

ギンバル訓練場跡地利用調査特別委員会（外間現一郎委員長）が、ギンバル訓練場及びブルービーチ訓練場の現場踏査と返還後の跡地利用として、町が計画している先端医療施設の先進地調査を実施した。

**中間報告**

**1 調査事項**

- ①跡利用事業のはりつけ事業の調査研究。
- ②滅失地、潰れ地の状況調査。
- ③財政状況、国庫補助金、自己資金の見通し、貼り付け事業の内容と各事業の予算計画について。

**2 調査日及び調査内容**

- ①平成17年10月25日 ・調査日程の調整及び調査方法について  
・事業誘致の進捗状況について

本委員会ではギンバル訓練場跡地利用計画について、提出された資料を基に事業計画及び導入事業についての説明を受け、今後の調査日程、調査方法の調整を行った。

事業計画については短期スケジュール表を作成し、より具体的な計画内容の説明ができるよう求めた。併せて、ギンバル訓練場の現地調査、導入予定事業の先進地の検討を行った。

- ②平成17年11月29日 ・ギンバル訓練場及びブルービーチ訓練場の現地踏査及び洋上調査について

ギンバル訓練場及びブルービーチ訓練場の立入調査については、那覇防衛施設局から基地対策室長外6名の担当職員が同行し、ギンバル訓練場海浜の滅失地、導入施設建設予定地の既設構造物等（ヘリパッド、メースBサイト、消防訓練施設）の確認と説明を受ける。また、ヘリパッドの移設がSACO合意の条件のため関連してブルービーチ訓練場を視察した。

- ③平成17年12月22日 ・ギンバル訓練場跡地利用スケジュールについて

ギンバル訓練場に関する経緯、移設条件方針表明までのながれ、ギンバル訓練場返還計画スケジュールについての説明を受ける。ギンバル訓練場の返還はヘリパッドのブルービーチ訓練場への移設が条件であるが、導入事業の誘致は先行して進めていく旨の説明があった。

- ④平成18年1月10日 ・ギンバル訓練場跡地導入事業の説明及び聞き取り

ギンバル訓練場跡地導入事業の先進医療センターA社、ギンバルリゾートリハセンターB社、免疫クリニックC社の事業内容、雇用効果、収支計画等の説明を受ける。

- 提出された資料の質疑は文書により事前に提出し、回答を求める。
- ⑤平成18年1月30日 ・ギンバル訓練場跡地導入事業について

先進医療センターA社、ギンバルリゾートリハセンターB社の事業計画について予め提出した文書に対して説明を受ける。免疫クリニックC社については準備不足のため次回に持ち越す。

- ⑥平成18年2月10日 ・ギンバル訓練場跡地導入事業について免疫クリニックC社の事業計画について説明を受ける。

- ⑦平成18年2月20日 ・東京都内にて先端医療施設及び先端ウエルネス施設の視察研修

**(視察研修概要)**

イ、四谷メディカルキューブにおいて先端医療施設の説明を受ける。都市型先端医療センターとして昨年5月にオープンした同院では、最新のPET-CT（GE社製）を採用し、精度の高い医療を提供している。企業と連携を取った運営を行っているということで現在は会員を対象とした検診等を行っている。

ロ、株ドラゴンアイにおいて先端ウエルネス施設の説明を受ける。同施設ではいろいろな器具を使用して心身の疲労の回復、あるいは健康を保つ効用を提供している。これはトップアスリートとして活躍した経験に基づき開発された設備器具等であった。健康者やスポーツ関係者を対象としている設備として他施設との違いを検証した。

ハ、武蔵村山病院において先端リハビリ施設及び先端医療施設の説明を受ける。同院のリハビリ施設は日本リハビリテーション医学会研修施設に認定されており、いろいろな機能回復訓練が可能である。また、最新のPET-CT（日立社製）を採用し、精度の高い医療を提供している。特に口腔、歯科、言語等をリハビリに一貫して導入しているという特色である。

**3 まとめ**

今回の視察によりPET-CT機器の現物とその検診の仕組みについては理解ができた。高価な設備ということもあってその採用には慎重にならざるを得ないが最先端の医療機器というこの設備の特徴は、まさに癌の早期発見には大いに寄与できるという確信を得ることができた。一方、これらとリハビリの関係についてはまだ十分に検証するに至らず、総合的な運営やこれらを利用した地域医療といった内容については更に運営している先進地の研修も必要ではないかという意見である。これからの電子情報化時代を考えると電子カルテの導入に対しても積極的に検証する必要があるのではないかと。以上、中間報告とする。

**議事録検索システムがスタート**

4月1日の金武町ホームページのリニューアルに伴い、議事録検索システムがスタートしました。

これまで、町立図書館や各区公民館のみへ配布していた議会議事録が、インターネットを通してご家庭でも閲覧できるサービスです。

金武町ホームページのトップページから議事録検索ボタンをクリックしてご利用ください。

金武町公式ホームページ：<http://www.town.kin.okinawa.jp>